



トップメッセージ	NTTグループの概要	NTTグループのCSR	人と社会のコミュニケーション	人と地球のコミュニケーション	安心・安全なコミュニケーション	チームNTTのコミュニケーション	ガバナンス	GRIスタンダード対照表
情報セキュリティの強化		個人情報保護	通信サービスの安定性と信頼性の確保	安全に関する法遵守と情報通信のマナー啓発				

## 日本のセキュリティ人材の育成

NTTグループでは、日本のサイバーセキュリティに関わる人材のスキル不足、量的不足を解決するため、産業を横断した人材育成の取り組みをはじめ、早稲田大学での寄附講座の開講、セキュリティ・キャンプ協議会<sup>\*1</sup>やICT-ISAC Japan<sup>\*2</sup>への参画など、さまざまな取り組みを実施し、日本のセキュリティ人材の育成に貢献しています。

重要インフラ分野に関わる企業と産業横断で協力・運営している「産業横断サイバーセキュリティ人材育成検討会<sup>\*3</sup>」においては、2015年6月の発足以降、定期的に会合を開催し、醸成した信頼の輪に基づく情報共有の推進やセキュリティ統括人材像<sup>\*4</sup>などを謳った報告書をWebサイトに公開しました。さらに、参画するユーザ企業と招待企業などの幹部層による会合を開催し、経営層のサイバーセキュリティに関する理解を得ることで、産業界主導でのセキュリティ対策の強化を加速しました。

また、日本の若者に高度なセキュリティ技術の学習機会を提供するため、早稲田大学での「サイバー攻撃対策講座」の開講やセキュリティ・キャンプ全国大会の支援を行うなど、新たな世代のセキュリティ人材の拡大にも貢献しています。さらには、情報通信技術(ICT)分野全体のサイバーセキュリティに関する情報共有および分析のための組織「ICT-ISAC Japan」に参画。2018年3月には「IoT時代のICTリスクとその対応」と題したオープンセミナー開催に貢献するなど、サイバーセキュリティの観点から安全な情報通信技術(ICT)社会の形成に寄与する活動を推進しています。

<sup>\*1</sup> 一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会 <https://www.security-camp.or.jp/>

<sup>\*2</sup> ICT-ISAC Japan:情報通信技術(ICT)分野全体のサイバーセキュリティに関する情報共有および分析のために設立された一般社団法人

<sup>\*3</sup> 産業横断サイバーセキュリティ人材育成検討会 <http://cyber-risk.or.jp/>

<sup>\*4</sup> セキュリティ統括人材:経営的な知見とサイバー攻撃やネットワークインフラなどの専門的な知見を有し、経営を支援しながら関係部署をリードする人材

## 情報セキュリティ技術・サービスの開発

NTTグループは、高度化・深刻化するセキュリティ脅威に対応するため、情報を安全に保護するための暗号技術の研究や、サイバー攻撃対策を支援するサービスの開発など、さまざまな情報セキュリティに関する技術・サービスの開発を推進し、安心・安全なコミュニケーションの実現に貢献しています。

一例として、NTTセキュアプラットフォーム研究所による「Silhouette(シルエット)」の発見があります。「シルエット」とは、ソーシャルウェブサービス(SWS)を利用するユーザが、悪意のある第三者のWebサイトを訪問した際に、ユーザのSWSアカウント名がそのWebサイトから特定されてしまう可能性があるという脅威で、プライバシー情報の濫用やオンライン詐欺などに悪用されるおそれがあります。同研究所では、「シルエット」の影響を受ける多数のSWSを早期に発見しました。

また、NTTは「シルエット」の影響を受けるサービス事業者やブラウザベンダに対し、被害が発生する前に情報共有を行い、Twitterをはじめ、Microsoft EdgeやMozilla FirefoxなどのWebブラウザの対策にも協力しています。これにより本脅威による第三者からのアカウント名の特定は不可能となり、より安全にインターネットをご利用いただけるようになりました。

今後も、NTTグループは堅牢なサービスを提供できるよう努めていくとともに、インターネットの安心・安全な利用促進に向け、情報セキュリティ技術の研究開発に注力していきます。

<sup>\*</sup> ソーシャルウェブサービス:ソーシャルネットワークサービスや動画共有サイトなど、ユーザが投稿したコンテンツやユーザ同士のコミュニケーションに基づいて形成されるWebサービス